

ほまれ



社会福祉法人 日野友愛会

〒529-1634 滋賀県蒲生郡日野町深山口524番地
TEL.0748-53-0261 FAX.0748-53-0611
<http://www.homare.or.jp>

特別養護老人ホーム 誉の松

デイサービスセンター 誉の松

ケアハウス ひの

第77号

2024年冬号



医療だより

～冬に流行する感染症～

「風邪は万病の元」といいますが、風邪と言う病名はなく感染症の一種です。冬に感染症が流行しやすい理由は気温と湿度の低さがあります。ウイルスや細菌は低温・低湿度を好むため、冬は夏よりも長く生存することができ、感染力が強くなります。

冬に流行る感染症

・インフルエンザ

インフルエンザウイルスを病原とする気道感染症です。38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が突然現れるA型、高熱の場合もあるが微熱や平熱の事もあり、消化器系の症状が特徴のB型があります。主な感染経路は飛沫感染と接触感染。インフルエンザ予防の基本は、流行前にインフルエンザワクチンの接種を受ける事です。

・ウイルス性胃腸炎

ノロウイルスやロタウイルスに感染して、嘔吐や下痢が突然始まる「お腹の風邪」。ノロウイルスは1年を通して発生していますが、特に冬に流行。主な感染経路は接触感染と飛沫感染。手指や食品などを介して口から感染し、腸管で増殖します。ロタウイルスは乳幼児期に多く発症します。予防には手洗いが必須です。

・RSウイルス感染症

風邪のウイルスの一種、RSウイルス。ほとんどの感染は乳幼児で、気管支や肺炎などの症状が現れます。主な感染経路は飛沫感染と接触感染。感染力が強く、子供同士の集団発生に気を付けましょう。大人は軽い鼻風邪程度で済みますが、知らないうちに乳幼児にうつしてしまうこともあるので要注意です。



グループ施設だより

《ほまれの里グループホーム》

表紙にもなりました、今年の初詣。例年、綿向神社への参拝は、誉の松とゆめさとグループホーム、そしてほまれの里グループホームの3団体が集まって御祈禱をしていただいています。コロナ禍を経て4年ぶりの当日は、ゆめさとグループホームが残念ながら欠席。昨日の積雪がところどころに残っていましたが、天気は快晴。お正月3が日はさぞ賑わっていたであろう神社内も、今日は貸し切り。

しんと静まったなかで宮司さんの奏上が始まり、みな首を垂れて静かに聞き入っておられました。今年の始まりは、能登半島地震や羽田空港での事故などショッキングなことが多く、利用者さまも胸を痛めています。そのような中で、コロナ禍を乗り越え今こうして普通の生活が利用者さんとできることをとてもありがたく思いました。祈禱では、施設での豊かな暮らしが続けられますように、世の中に平和が訪れますように、と祈りました。



編集
後記

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

寒い日は続っていますが、皆様体調は大丈夫でしょうか？

一昨年当施設ではこの時期コロナウイルスが流行し大変な年末でしたが、去年は流行せず落ち着きが見られました。引き続き予防に努めながら毎日楽しく健康に過ごせたらと思います。2024年が皆様にとって良い1年になりますように。



特養

寒さも日毎に増します今日この頃、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。この時期インフルエンザや風邪、コロナウイルスの予防に努めています。12月22日にクリスマス会を行いました。まず始めに、紐の先にクリスマスラッピングされたお菓子を括り付け、その紐を利用者様に引っ張ってもらうゲームを行いました。利用者様は一生懸命に紐を引っ張りお菓子を取っておられました。1人ではなかなか引っ張る事が難しい人でも職員と一緒に笑顔をみられ楽しく参加されていました。またお菓子は、翌日のおやつに提供し皆様美味しく食されていました。



次にクリスマスケーキを用意しました。ナリコさんが用意してくださったシートケーキを切り分けホイップクリーム（ゼリーの利用者様は苺ゼリーにホイップクリーム）を乗せて提供し皆様喜んでおられ美味しく食べられていました。中には「こんな綺麗な物もつたないわ」と言われる利用者もおられました。声掛けすると笑顔で食べられていました。年が明け、正月には書初めや福笑い、お手玉などお正月の遊びを行いました。書初めでは今年の干支「龍」を書こうとされていました。漢字が難しい為「辰」や「竜」を書かれていました。また今年の抱負も書かれており皆様楽しく書かれていました。福笑いやお手玉は職員と一緒にとても笑顔で参加されていました。今年1年、利用者様が快適に過ごせますよう職員一同努めますのでこれからもよろしくお願い致します。

デイサービス

明けましておめでとございます。新しい年が始まりましたが、皆様体調は崩されていませんか？目標などをたて、気持ち新たに日々過ごしていきたいものです。

さて昨年の行事報告になりますが12月度は毎年、寒い時期に合わせて、利用者さんに身体の中からあたためていただく『寄せ鍋』を企画しました。普段提供しているお食事もちろん温かいのですが、寄せ鍋はデイフロアの利用者さんの目の前で炊かせてもらうので、いつもよりさらにアツアツを食べていただきました。鍋のメはぞうすい。だしと具のうまみがしつかりでとてもおいしく、これも大好評でした。食後はお顔もほおと赤くなり、あたためていただけたなと感じられました。



また、コロナ禍で出来ずにいたクリスマス会を2年ぶりに開催しました。クリスマスということもあり、『ケーキバイキング&ドリンクフリー』に、職員によるハンドベル演奏も行いました。曲目は『きらきら星』と『きよしこの夜』。練習不足にもかかわらず、利用者さんからは「よかったよ！」「上手やったわ」とお褒めの言葉をいただき、恐縮ですがとても嬉しかったです。今後も利用者さんに楽しんでいただける企画をさせていただきますので、楽しみにしてくださいね。そして今年も誉の松デイサービスをよろしくお願いいたします。

シヨートステイ

今年の冬はいつ訪れるのだろうかと心配になるほど暖かい陽気が続きましたが、気が付けば真横を冬が通り過ぎていてほっとしたような気持ちになります。寒さが体に染み渡り気分が後ずさりそうになりますがコタツに身を寄せ温まったり、家族で鍋料理を囲みながら過ごしていると「冬もいいな」と思わせてくれます。新年が明けて早数日が経過しています。シヨートステイでは年末年始、関係なく利用者さんを受け入れており慌ただしくも賑やかな時間が流れていました。

11月には文化祭が開催されました。日頃、施設で過ごされている間に取り組まれた塗り絵・貼り絵などがボランティア室に展示されました。職員と一緒に創作した物も多く展示され、その空間だけが美術館のような幻想的な世界に包まれました。利用者さんも入れ替わり鑑賞され、その鮮やかな色とりどりの展示品を眺めて笑顔が溢れていました。ご自分が創作された作品が展示されていると少し照れくさそうにされていましたが、終始笑い声が絶えず、こちらも嬉しい気持ちになりました。

今年も沢山の出会いや、楽しいことを利用者さんと共有し明るい時間を過ごしていきたいです。シヨートステイで安心して過ごして頂けるよう、沢山の笑顔がみられるよう日々努力して参りたいと思います。本年もどうかよろしくお願い致します。



ケアハウス

コロナ禍では学童保育、この子ども達と交流が出来なかったですが、最近では少しずつふれあう機会が増えてきました。クリスマスにはケアハウスの皆さんも参加してゲームを楽しみました。綿で作ったボールを紙コップで運ぶリレーを一緒にしたり、風船を詰めたタワーに空気圧で押し上げるゲームを応援したりしました。子ども達の白熱したゲームを一生懸命に「いけ、いけえー」「がんばれー」と応援していました。綿向山の雪も解けるくらいの熱戦で元気をもらえた、楽しいひと時でした。子ども達と再び交流ができるのは嬉しいことです。

本年もぴっこの子ども達のようにパワフルにケアハウス一同、団結して過ごしていきますのでよろしくお願い致します。

